



- 現役文理科生寄稿
- 三人ムスメのゆかしきこと
- 教員コラム

アナタと文理科をつなぐ

今号は合格したばかりの現役文理科性を紹介

—事前シートや面接で何を口にしたんですか。

スポーツゴミ拾い甲子園の県大会で優勝して、全国大会で他県の高校生たちとディスカッションしたときの話を主に口しました。海保安全のキャッチコピーを作ることが課題で、最優秀賞をいただきました。ブレインストーミングでアイデ

—解説の練習はしましたか。

正直、かなりしました。一番配点が高かったのもありますが、自分が人前で話すことにある程度自信があったので、力を入れました。毎日数学と物理の先生にお願いして、練習してました。遅くまで付き合ってくれて感謝してます。先生達は、授業中にも時間をくれて解説させてくれました。友達も協力してくれました、家にもホワイトボードを用意して、家族に向かってやってました。場数を踏んだ分、自信もつきました。

合格体験記 10 『信じること』

—どんな入試でしたか。

一般推薦で受けました。試験内容は、主体性や協働性に関する事を書く事前提出のシート、それから英語のマーク試験、大変だったのは面接試験でした。数学と物理の問題をその場で解いて、大学教授に向かってホワイトボードで解説するんです。



九州工業大学 工学部 園田 将士 さん



▲自宅のホワイトボード



▲学校での練習中

ア出しをして、チームの意見を練り上げました。落ち着いて自由に意見を出しあったことで、良いコピーができました。

—受験に関してアドバイスをお願いします。

九工大を志望したのは、3年生の夏頃でした。得意科目とか興味のある分野から選んだので、なぜ行きたいのかは明確じゃありませんでした。シートの作成や面接のために、経験を振り返ったり大学の情報を調べたりして自分が大学で何がしたいのか明確になったと思います。九工大は環境ロボット開発をしていて、僕が取り組んだ環境問題に工学という面から関わることを知って、より強く志望するようになりました。

あとはもう受かると信じて頑張りました。やりたいことが明確になったこと、くり返した練習で自信がついていました。母や友達は「落ちても大丈夫」と励ましてくれましたが、最後まで自分を信じてこたができました。だから、最後まで自分を信じていることが大切なのかなと思います。



▲受験当日 正門前にて

▲スポゴミ甲子園 先輩二人と3人で出場



私がキャプテンになってから学外でダンスを踊るのは初めてだった。私はキャプテンだけど、本当に頼りないなって自分で感じるくらい、人のサポートなしでは何もできない。本番の12月に向けなかなかスイッチが入らず11月を迎えた。先生にやる気のなさについて言われて、あーキャプテンの自分は何をしてきたんだらうって申し訳なくなった。11月は踊り込みをしてる時期なのにほとんど何もしてなかったからテスト前も休みなく部活をした。そのおかげか、みんなスイッチが入り、お互いに振り付けを見合ってた。アドバイスし合ってた。ちよつとずつ成長した。そして今日は本番だった。朝からギリギリまで調整して、大勢の前でダンスをした。その場ではよくわからなかったけど、講評が想像してたよりよくて、母達が撮ってくれた動画を家で確認したら今までで一番できて、よかつたって思った。

先生や仲間がいなかったらこまでこれないと思うから本当に感謝だし、私は自分を支えてくれる人がいるから幸せ者だと思ってた。

約5年いたダンス部もあと半年で引退して本格的受験モードに入る。残りを楽しく、悔いの残らないような部活にしていけたらと思う。

是日 文理科

現役文理科生寄稿

「県ダンス発表会」
文理科2年
池田 羽蘭





三人ムスメ(仮)のゆかしこと

このコーナーは文理科に通う「ももこ、くるみ、あやね」の三人ムスメ(仮)が、中高生の気になることを紹介していく、とても自由なコーナーなのである。ちなみに「ゆかしき」とは「見たい・聞きたい・知りたい」という意味の古語である。



春休みのこと

も 管弦楽部部長の川崎さんがゲストで来てくれました。私たちも、もうすぐ3年生だから、春休みの過ごし方について話していこう。

あ 川崎さんは春休みどう過ごそうと思ってる？

か 私は、定期演奏会があるから、まずはそれに向けて練習だな。

く いつごろまで部活が続くの？

か 基本的には定期演奏会で引退するから、そこからは受験勉強に集中していくかな。

く 受験かー。冬休みは宿題やって満足してたから、春休みは自分の勉強をしっかりとやりたいね。

も 受験に向けてやることか。皆、赤本とかっていつから始めるんだろう。

あ 私は、まずは基礎からって思ってる。もう一度各教科おさらいがしたいな。

く そういえば先生が3学期は三年生の0学期だって言ってたね。

本日のまとめ

- 春休みは復習もする
- バランスが大切

川崎さん



も もうすぐ終わるね。3学期。やっぱり復習したいよね。ちよびつとでもできたらよし。で、ちよびつと遊ぶ。いや、ちゃんと勉強はするよ。

あ 2年生最後だしね。思い出を作りつつ、復習にも取り組む。バランスが大事。

く よし。皆バランスを考えて復習に取り組もう。最後に告知とかある？

か はい。今、管弦楽部は定期演奏会に向けて練習しています。残り一か月を切つて、すごく大事な時期なので高2は少しピリピリしてるかな。いよいよ本番って感じで気持ちが高まってきました。今年はコロナの影響で一般の方の来場は受け付けていませんが、れいめい生の皆さんはぜひ足を運んでください。

3/26(土)SSプラザさん
だいで13時30分開場です。

リレーコラム

毎号、文理科の教員がコラムをリレーしていきます。

「キャラクターとヴァイオリン」



文理科1年生副担任(音楽) 香月 愛

「キャラクターあげるよ、起きようか」私はキャラクターのために眠い目を必死に開けて楽器を弾いた。4歳になってすぐ、双子の妹と一緒にヴァイオリンを始めた。家から歩いて20分、レッスン場に着くと毎回クタクタだった。80歳近いおじいちゃん先生は、楽器を構え、寝ながら弾く私たちに優しく声をかけてくれた。私はキャラクターをもらうために楽器を弾いていた。

不純な動機で続けていたが、先生が地域に音楽を私設したオーケストラに入団し、年長者と一緒に難しい曲を弾くことになった。もちろん全然弾けない私は、先生手書きの楽譜で簡単な音符が並ぶ、原曲にはないパートを演奏する。先生はミスをしても眠そうに弾いても、いつも笑顔で「上手になったねえ」「ここはこうしてごらん」と優しく指導してくれた。

楽団には小学生から高齢者まで幅広くいた。休憩中に参考書を見る練習に欠かさず来る高校生のお兄ちゃんも、仕事で遅れてくるけどソロなんか弾けちゃうお姉さんも、大人になって始めてなかなか上手に弾けないおばあちゃんも、みんな先生を慕って一緒に演奏する仲間だった。仲間と演奏したたくさんの曲とともに練習中や休憩中、演奏会の温かい記憶が残っている。

私は地元を離れたが、遠く鹿児島でオーケストラ活動を続けている。管弦楽部指導では演奏もできて毎年仲間も増える。幸せなことこの上ない。部員の生徒たちが学校生活を振り返った時、甘いキャラクターのような温かい記憶となっているようにと今日もヴァイオリンを片手に音楽づくりをする。

〈編集後記〉

最近読んだ小説で靴下を丸めてからしまう男が彼女に嫌われていた。目玉焼きにしよう油とマヨネーズをかけるのも気に食わないらしい。私は、この男に心底同情するとともに、熱烈な支持者として読み終えた。小説や楽曲に触れていると、何となく自分の心に届く瞬間がある。自分の事を描いた作品では無いのに、作品の中には架空にしろ實在にしろ、特定の人物が描かれる。受け手がその人物に共感した時、心に届く。靴下のたたみ方だろうが、目玉焼きにかけるものだろうが、明確な個人がもつメッセージはそれだけエネルギーがある。

今月の3月号で、4月から数えて全10回(合併号2回)となった「文通」。今年度、文理科広報の一環としてスタートした受験生・保護者に向けての広報紙だ。紙面では文理科という集団を構成する「個人」に焦点を当てている。つたない内容ではあるが、あなたに届く一通であってほしいと思う。